

# 串間市議会 だより

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会

2015年1月 No. **7**

[http://www.city.kushima.miyazaki.jp/modules/contents05/index.php?cat\\_id=1](http://www.city.kushima.miyazaki.jp/modules/contents05/index.php?cat_id=1)  
「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」  
TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP

一般質問

## 地方創生について考える



第2 高畑山からみた串間市中心市街地

- P2: 12月定例会
- P3: 常任委員会報告
- P5: 一般質問
- P16: ふるさと探訪



2014年7月にオープンした「港の駅いままち」。いままちで美味しいもん見つけませんか？



# 常任委員会 活動りポ一ト

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることについて調査研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

- 総務常任委員会**  
委員長 武田 秀一
- ◎議案5件、請願1件
  - ◎議案第86号 平成26年度串間市一般会計補正予算（第7号）
    - ・歳入 立木売却収入について
    - ・歳入 「がんばっどふるさと応援基金」推進事業について
    - ・歳出 消防費、光熱水費について
  - ◎議案第89号 平成26年度串間市民病院事業会計補正予算（第2号）
    - ・光熱水費338万9000円
    - 補正予算計上
    - ・債務負担行為 給食調理業務委託1億8269万6000円、医事業務委託7671万5000円
  - ◎議案第96号 串間市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
  - ◎議案第97号 串間市選挙公報に

- 文教厚生常任委員会**  
委員長 門田 国光
- ◎議案第86号 平成26年度串間市一般会計補正予算中、分割付託を受けた関係部分について賛成多数により可決しました
  - ◎議案第97号 串間市選挙公報に

た、福島高等学校の存続に向けて支援事業の予算を増額し、これまでに以上の中心となる支援策を行うとともに、積極的なPR活動を行うべきとの意見がありました。

◎議案第102号 公の施設の指定管理者の指定について  
市立図書館の指定管理者について種々議論がりましたが、選定された指定管理者については、図書館としての機能充実を図るとともに、新たな自主事業に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

その他、議案87号、98号、101号については賛成多数で可決。議案73号、74号、75号、81号、82号、88号、95号、99号、100号については、全会一致で可決しました。

陳情第12号国民健康保険税の引き下げを求める陳情書については、市と国民健康保険の被保険者の双方が医療費適正化及び医療費削減に努め、可能な限り国民健康保険税を引き下げる必要があるな

## 12月 定例会

# 平成26年度一般会計補正予算

# 118億2,771万9千円に

# 1億5,418万4千円を増額

寄贈 高鍋町 「タカナベカイドウ」



平成26年11月吉日、串間市の市制施行60周年を記念し、姉妹都市である高鍋町から寄贈されました。タカナベカイドウは、バラ科リンゴ属で、3月中旬～下旬に3センチメートルほどの、淡いピンク色の花を咲かせます。霧島えびのにある国の天然記念物「ノカイドウ」や「ズミ」の仲間とも異なる高鍋町特有の「カイドウ」です。高鍋町と串間市が姉妹都市として友好をさらに深め、将来に向けた新たなスタートを記念するシンボルとして大切に育てます。



**一般会計の予算総額は 118億2771万9千円に…**

平成26年12月定例会が11月25日から12月16日までの会期で開催されました。

今定例会では、報告に関する2件、9月定例会に於いて継続審査となっておりました平成25年度決算認定13件、一般会計他特別会計の補正予算21件・条例改正8件・その他8件が上程され、原案のとおり可決されました。

なお、今回の定例会は12名の議員が市長等に対して一般質問を行いました。

その他、請願2件・陳情2件の審議を行い、議員発議による議案2件を上程し可決いたしました。

どの意見があり、採決の結果、全会一致により陳情者の願意を了として採択しました。

### 産業建設常任委員会

委員長 実藤賢次

◎議案第73号 平成26年度串間市一般会計補正予算(第5号)中分割付託を受けた関係部分について

全会一致により可決しましたが、議案を提出した以上は、各課が内容を把握し適切な説明をすべきとの強い意見がありました。

◎議案第86号平成26年度串間市一般会計補正予算(第7号)中分割付託を受けた関係部分について

採決の結果、全会一致により原案可決致しましたが、次のような意見がありました。「商工業振興費」において、小規模事業者融資等保証料に係る事業補助を増額補正しているが、事業効果の検証が不十分であり、適切に把握し拡充を含め検討すべきある。「都市計画総務費」において旧吉松家周辺

整備事業の測量設計委託料を、道の駅構想や周辺環境の変化を理由に複合施設用地購入費と補償金に組み替えており、計画が不透明な状況での執行は不適切であり、施設整備については、市民が納得できるような説明を果たすべきである。また施設建設については将来財政を圧迫することが無いように弾力的に検討、市民の意見を広く取り入れ充実した意見が得られるよう努めるべきである。

◎議案第77号◎議案第78号◎議案第79号◎議案第80号◎議案第90号◎議案第91号◎議案第92号◎議案第93号◎議案第94号◎議案第103号◎議案第104号◎議案第105号

以上12件について全会一致で可決しました。

◎陳情第11号旧都井岬観光ホテル購入と観光振興について採択としました。

### 特別委員会報告

平成25年度  
決算審査特別委員会審査報告

委員長 瀬尾 俊郎

本決算審査特別委員会は平成26年9月16日設置以来、3分科会に分かれ、予算執行が議決の趣旨目的に沿っているか、初期の目的が達成されたか、審査方針に留意し慎重に審査してまいりました。

認定第1号から認定13号までの13件について、次のような意見・指摘がありました。

財政構造について、実質収支額が4億4881万5829円で、自主財源が23・1%、依存財源が76・9%となっている。

歳入については、固定資産税、軽自動車税の滞納繰越分について、公平公正の原則から収納率の向上に努めるべき。

生活保護費について、受給者も年々増加傾向とのことである、不正受給のないよう受給条件等の確

認・精査を適宜行うべき。

文化会館の指定管理者について、前回の報告書に対し十分に精査をするように指摘したにもかかわらず、決算書中の項目に不適切な表記があり、資料の訂正が生じた、今後このような事がないように管理指導を徹底すべき。

運営費補助金・事業費補助金について、毎年の指摘であるが、事業実施後の処理方法がゼロ精算・繰越返還などが統一されていない、事業実施後の補助金の取り扱いに関しては、事業ごとに補助金交付要綱・基準等を見直し、庁内で統一された基準を設けるべき。

また、依然として不要額が多く、流用及び充用もみられる状況である毎指摘している事項であるので、予算編成時の積算及び審査を徹底すべきとの意見、指摘があったところであります。

この結果を踏まえ、賛成多数で認定されました。

## QA

### 一般質問

市議会議員が市に対して皆さんの生活にかかわる内容を質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方針、住民生活に密接にかかわる事項について質問をすることで、串間市では今どんなことが行われているか知ることができます。

### 事業 小規模飲料水供給施設 について



かどた くにみつ 門田 国光 議員

繰出金と比較して、どのように思っているのか。

小規模飲料水供給施設は、黒井・樋口・居城田・上大矢取・三ヶ平・三幸ヶ野・奈留の7カ所ありますが、長年にわたり自主管理運営がされてきました。上水道・簡易水道の整備がされている所は、市の相当な負担があります。私は一世帯当たりの市の負担を算出し、一般質問等を通じて、公平公正の行政執行をすべきであると長年にわたりくどく議論した結果、市長の英断により平成23年3月31日に小規模施設に対し補助金交付要綱が公布され、同年4月1日から各施設に補助金が出るようになりました。しかし、まだまだ公平ではないと思います、今議会においても質問いたしました。

現在の補助金交付状況は。特に簡易水道・上下水道とのバランス、すなわち一般会計からの

小規模飲料水供給事業の実績につきましては、23年度は樋口100万円・宮原7万9000円・居城田12万8000円の補助金、24年度は奈留100万円、25年度は上大矢取50万円・三幸ヶ野100万円・奈留100万円、26年度は居城田100万円・黒井33万8000円・奈留36万2000円となっております。なお、電気料金等の維持費につきましては、その施設を管理・運営する者がその費用を負担することになっていきますので、ご理解を賜りたい。今後もさらに公平公正の行政執行をたてに頑張っていきます。

市政

市民アンケートと  
27年度予算編成について



こだま まさたけ 議員  
児玉 征威

私たちが11月に実施した市民アンケート。「申間市が力を入れて取り組むべき課題」の第1位は国保税・介護保険料の負担軽減、第2位が働く場の確保、第3位が子育て支援、第4位が高齢者・障害者対策、第5位が市民病院の充実、第6位が防災・減災対策となっています。市民の願いに応え、予算編成にどう取り組みますか？

国保税・介護保険料を引き下げよ！

市民アンケートでは「高すぎる国保税を引き下げてほしい」が80%です。25年度決算では国保会計は1億7859万円、介護保険は6086万円の赤字決算となつていきます。市民の願いに応え、引き下げを実施すべきです。市長は「値下げは厳しい」「介護基金は活用する」と答弁しました。

子育て支援について

子どもの医療費助成と保育料軽減に

ついでに「より効果的な支援策について総合的な観点から取り組み」と答弁しました。

中学校1校再編は再検討を。

市民アンケートでは、賛成32.5%、反対21.2%、再検討27.7%です。「その進捗状況を報告していく」と答弁。

赤字の申間温泉「返上」について。

2年間で3437万円の赤字。指定管理者の「返上」の申し出がされた。市の責任と今後の対応について質問。「新しい指定管理者の公募や譲渡等も検討する」と答弁。

米価暴落と対策について質問、「販売実績では30%当たり5700円程度の実績、価格は不透明、飼料用米等への誘導を進める」と答弁しました。

市政

地方創生に対する  
市の対応



いであきと 井手 明人 議員

○地方創生に対する市の対応

Q 国の地方創生に対する市長の考えとその対応は。

A 申間市にとつてのチャンスと捉え積極的に活用していく。

Q 「日本版シニアネーチャー制度」を活用して、副市長クラスに国家公務員の派遣を要請する考えはないか。

A 派遣要請を計画する考えである。

○中心市街地の活性化

Q 旧吉松家周辺活性化実施計画は道の駅建設を含めた中心市街地開発の総合計画として見直しが必要なのか。

A 予算も含め一つのものとして計画していく。

Q 大正ロマンと鉄道によるまちづくりといふコンセプトは、歴史的背景や文化、風土及び残存する資源の面からもそぐわないのではないかと、市民を含めたまちづくり検討委員会で作成されたものであり、議員の考えは会に伝える。

○環境省関連事業について

Q 「地球温暖化対策税」を活用した環境省の平成27年度事業に取り組み考えはないか。

A 事業内容を精査し検討する。

○職員研修とコンプライアンス

Q 職員による市営住宅不正入居問題は結論が出たのか。

A 調査を行い懲戒委員会も一度開いたが、まだ結論は出ていない。12月中に結論を出す。

Q 庁内グループウェアの一つである回覧板の業務目的以外での使用があったのではないかと、11月に業務目的以外での使用があった。今後はコンプライアンスを徹底していく。

A 11月に業務目的以外での使用があった。今後はコンプライアンスを徹底していく。

○情報インフラの整備について

Q 毎回質問しているが、市民協働企業誘致、定住促進、学校跡地利用等に係わってくる情報インフラの整備は早急に進めるべき。

A 必要性は認識しているので前向きに取り組む。

事業

道の駅構想・  
旧吉松家住宅周辺活性化  
実施計画について



じつこう けんじ 実藤 賢次 議員

Q 旧吉松家実施計画は市民の間で事業効果を疑問視する声が多く、合意形成をどうするのか。また、計画書配布は議員のみでなく自治会連合会等にも配布するなど、市民にも周知を図るべき。

A 一体的な計画が出来た時点で、市民への周知や合意形成が必要と考える。

藻場再生事業について

Q これまでの取り組みにおける評価と課題は。

A 崎田地区では適正管理により、藻場拡大・ウニの品質など一定の評価ができる。都井地区では、ウニ採取者の事業参加がなくウニ駆除等管理面に問題もあり、食害防止の低下が懸念される。

都井岬再興について

Q 旧都井岬観光ホテル買収交渉の進捗と可能性について。

A 現在、交渉中で重要な局面となっており詳細な答弁は控えたい。

医療費（国保）抑制策について

Q 各種検診率向上を図るため、国保加入者の健診意識を高める必要が

あるが。電話による勧奨、広報紙活用、事業所訪問等により市民意識の高揚に努めている。

児童公園・遊園の現状について

Q 本城支所近隣にあった利用度の高い児童遊園は地区住民に何ら説明もなく、撤去されたことは住民無視も甚だしく誠に遺憾であり、今後の再設置計画はあるのか。

A 今後の設置計画はない。  
\*再設置を望む住民の声が多く、対応するよう強く要望する。

防災士資格取得費補助について

Q 防災士の活動が今後さらに期待されることから、有効な提案として検討する。

(参考)市内の防災士30名

他質問

- ・ふるさと納税について
- ・農業振興について
- ・公共施設老朽化対策
- ・市職員の社会貢献活動について

事業

串間温泉指定管理者  
について



いまえ たけし 今江 猛 議員

Q 「串間温泉いこの里」の指定管理の取り消しの申し出について、市長の見解を伺いたい。

A 「串間温泉いこの里」の指定管理者による指定取り消しの申し出につきましては、指定期間半ばの申し出であり、たいへん遺憾に思っており、また、市としても責任を感じているところであり、今後、利用者にご迷惑をお掛けしないよう配慮に努めますとともに、新たな指定管理者を速やかに選定したいと考えております。

Q 「串間温泉いこの里」の維持管理等に支出した経費について、前指定期間と現在の指定期間期間に分けて伺いたい。

A 「串間温泉いこの里」の維持管理経費につきましては、前指定期間管理者の平成21年度か

ら23年度の3カ年の決算額合計が7743万3728円、現在の指定管理者の平成24年度から26年度につきましては9649万995円となっており、いずれも施設及び設備の保守管理・修繕及び改修工事の経費であります。このうち平成24年度につきましては、休館時における基幹改修の経費として3805万5790円、回数券等への補助に138万1417円を支出したものが含まれております。また、平成26年度につきましても補正を含めた予算現額を使用しております。なお、回数券等の使用に対する補助を差し引いた本年度まで6カ年の維持管理経費の平均は2875万7000円です。

市政

市長の政治姿勢について



木代 誠一郎 議員

**Q** 佐藤副市長は串間市の現状をどう分析しているか。

**A** 人口減少や少子高齢化が進み、地理的条件も決して恵まれてはいない。課題は山積しているが、職員が高い意識を持ち、質の高い行政サービスが必要。東九州自動車道の整備促進、道の駅構想など、重要な事業も控えているため、議会と行政市民の皆様が一体となって対応することが重要。

**Q** 保護者や住民への進捗状況の報告を行っている中で、教育委員会の「説明会は必要に応じて行っていく」という姿勢に違和感を覚える。「説明が足りない」といった意見が多かった再編決定前の反省を踏まえ、具体的にどのような進めていくのか。

**A** 市の広報誌も特集を組み掲載していく。また、丁寧に学校別、地区別の説明会等を開催していきたい。

**Q** 串間市歌の普及に取り組みないか。

**A** 現在普及は活発には行われていないのが現状。市歌を通して串間市民としての誇り、郷土愛を育むことは重要だと認識している。市歌を歌う機会を増やすため、関係機関に依頼する等、普及に努める。

**Q** あくまでも一般論として、今後、指定管理者が何らかの不祥事を起こした場合、市と指定管理者との間に結ばれる基本協定書に取消し等の罰則を設けるべきだと思いが、罰則の必要性についての見解は。

**Q** 9月議会でも取り上げた「子ども議会」についての進捗状況は。引き続き協議している。

**A** 途中撤退や不祥事など、指定管理者の罰則規定はその内容や程度に応じペナルティを課す条項を設ける必要があると考える。募集要項や基本協定書の見直しは総務課と協議しながら検討していく。

市政

串間市の地方創生について



たけだ こういち 議員

**Q** 本年5月に日本創成会議が発表した、「地方消滅」論が各界に衝撃を与えました。串間市も消滅可能性の高い自治体に入っています。これを受けて人口減少対策が加速しています。当市の出生率は県内トップ1・96で全国でもトップレベルですが、子どもを生み育てる若い世代の人口が少ないため人口減少が続いています。これを止めるには、若者のU・イーターを増やす施策が重要です。そのためには、今まで以上の子育て支援、つまり子ども医療費、保育料、給食費など子育てにかかる費用の無料化、又は拡充。次に、働く場の創設として当市の基幹産業である農林水産業の後継者対策、具体的には3〜5年学びながら収入を得られる学校の創設、次に定住化施策として空き家条例を制定し、市内の空き家を売買・賃貸

物件と整備し若者に安く提供する。次にインターネット環境を整備し、徳島県神山町のようにITベンチャー企業誘致を促進するなどの各種施策を融合し、若者やU・イーターを増やすことが人口減少対策と串間市の地方創生になると考えるが、どう取り組んでいけるのか。

**A** 串間市にとって人口減少問題は喫緊の課題と考えている。国県の動向に注視しながら素早く対応し、地方創生に取り組んでまいります。

その他、コミュニティバスのデマンドシステムの可能性、旧吉松家活性化事業と道の駅構想の一本化について、旧都井岬観光ホテル買収の状況とエコツーリズム、自主防災組織と災害時の高齢者等要配慮者の対応についてなど質問いたしました。

事業

藻場再生と水産資源確保について



やまぐち なおつぐ 山口 直嗣 議員

**Q** 藻場再生、水産資源確保であります。藻場とは水深20mまでのアマモやテングサといった海藻が密集する場所で、魚貝類の餌場や産卵場、稚魚保育の場などの機能を持っているそうであり、アマモやガラモ、アラメの藻場は1976年と比べると5分の1、テングサなどの小型海藻は2分の1に減っているそうです。このような状況で水産事業の支援で藻場の減少を食い止め、回復を図りうるのか？ 私は通り一辺の事業支援ではだめだと思いますが、お聞かせください。

**A** 水産業の振興を図り、魚貝類の餌場や産卵場となる藻場の再生に取り組み、漁業者の所得向上に支援事業の充実を図っていききたい。

**Q** 道徳教育が教科化されようとしております。授業時間数は現状で、教科書が使われ、評価もしていくようであります。教科化が実現すればいじめがなくなるといって早計だと思えます。先生は評価に迫られるのではと危惧いたします。一人の子供を評価するのは並大抵ではないと思えます。道徳といじめ問題は規範意識が豊かな人間性は本来教え込むものではなく、子供たちが学校や家庭での生活を通じて自ら身に付け広げていくものだと考えますが、お聞かせください。

**A** 道徳教育が教科化し特定の価値観を子供たちに押し付けてはならないと思います。先生方が評価に迫られなければと思っております。今後の動向を注視していきたい。

**Q** 本市の諸問題について。

**A** ・幸島観光案内板設置と記念碑について。  
・市木港の保全と整備事業について。

市政

市長の政治姿勢、平成27年度予算編成方針について



なかむら としはる 中村 利春 議員

**Q** 市長の政治姿勢、平成27年度予算編成方針に地方創生をどう生かされるのか。

**A** 全庁的に「地方創生対策」を協議する推進委員会を設置し検討する。

**Q** バイオマス発電施設の操業開始が平成27年度とあるにもかかわらず何も出ていないが。

**A** 九電の系統連携契約の中断や補助金交付決定の遅れなどで後年度にずれ込むようです。

**Q** ふるさと納税者に今年から額に応じ、本市特産品を送る制度を設けられました。その成果は。

**A** 本年度はこの新たな取り組みにより、件数・金額とも大幅に増え、今後特産品の多品目化に向けた予算を組んでいきます。

**Q** 道の駅構想と旧吉松家周辺活性化計画の見直し、また、ホテル舞う大島堰水路改修は。

**A** 今後、一体的な中心市街地まちづくり構想で明らかにしていきたい。

**Q** 平成28年度から本格導入される人事評価制度、この法律の一部改正（地方公務員法）により給与等の職員の処遇が義務付けられますが、その取り組みは。

**A** 本市は人事評価制度は平成21年度から導入し、その体制づくりを実施している。

**Q** 通学路安全対策と運動公園内の外灯の増設、外灯の夜間点灯の延長については。

**A** 通学路の安全対策は本年7月に結成された「串間市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関で安全確保を図っていく。運動公園内の外灯問題については検討したい。

**Q** 企業立地促進条例の優遇策に地元企業、起業家への条件整備はできないか。

**A** 市外の誘致企業が対象になっており見直したい。

**Q** 新規就農者対策と六次化の取り組みは。

**A** 市内各地に見られる耕作放棄地の解決策に生かし、中山間地の活力にしたい。

事業

エコツーリズムの推進について



たけだ まさひで 議員 武田 政英

**Q** 串間市中学校新設校施設整備事業のワーキング会議のメンバーは福中の生徒5名となっているが、各学校の生徒の意見を聞くのが妥当では、広く意見を吸い上げ施設整備に生かしていくことが必要であると思っ

**A** いこの里は本来の指定管理者制度導入の検討も必要では。利用料金制で公募するが不安材料はある。同時並行で考えていく。専門家の分析により改善点等を明確にして公募する。

**Q** 結婚支援ポータルサイト等情報発信事業の内容は。県が新設の準備を進めている。(質問後、市のHPから接続できるようになった)

**A** 県道都城・串間線はライフラインの道路として整備を県に要望している。南海トラフ巨大地震が発生した場合、甚大な被害が想定されている。関係機関と連携し早期整備を今年度から要望する。

**Q** 麦の産地化計画の進捗状況と27年度の農業振興の取組は。実証試験は甘藷再生協議会が主体。販路は来年の収穫までに製粉や味噌製造業者と連携体制を検討。次年度は規模を拡大し産地化を目指す。平成27年度は、人・農地プランや農地中間事業により農地利用集積を推進、担い手や集落営農組織の育成支援、農業機械施設等の導入など基盤強化を検討。また6次産業推進や金柑の優良品種の生産拡大を図る。

**A** 商工業振興について27年度の国・県の事業導入計画は。国県の補助金は、緊急雇用創出関係の継続を一部予定。新たには地方創生事業を視野に可能な限り対応する。

**Q** エコツーリズムを推進するにはアドバイザーの近畿大学足立教授との緊密な協議が必要。また市長は足立教授と面談する考えはないか。

**A** エコツーリズムを推進するにはアドバイザーの近畿大学足立教授との緊密な協議が必要。また市長は足立教授と面談する考えはないか。(市長答弁)今後の事もある、機会を捉えてお会いしたい。(課長答弁)スピード感の認識に違いがある。より良い方向になるよう取り組む。

行政

行政組織体制の強化について



はなぶさ さとこ 議員 英 聡子

**Q** 時代に合った行政組織の再編は考えられないか。

**A** 市民協働・防災行政に対する住民の関心ニーズが高まってきていると認識している。組織体制の強化については今後熟慮してま

**Q** 35人学級見直しについての教育長の考えは。

**A** 35人学級だからこそ指導者の目が行き届き、いじめ等の早期発見に繋がっていると思うし、確かな学力を身に付けさせるための、個に応じた指導の徹底に寄与していると考えている。

**Q** 携帯電話やスマートフォンの子供の使用について。

**A** 各学校では授業や参観日・懇談などで子供や保護者に対して、SNSの利用に関するルールやモラルなど、情報教育に取り組んでいるので、現状を把握しながら

指導・支援をしていく。

**Q** 防災士の資格取得の推進について。

**A** 防災士の活動が地域防災にとって非常に重要な位置付けとなってきた。市職員や市民に資格取得の普及啓発を行っていききたい。

**Q** 烏帽子野白坂線の道路改良について。

**A** 幅員狭小の路線であり、改良工事の必要性は認識している。現在取り組んでいる他事業との調整や財源的な条件を整理しながら、今後検討していく。

**Q** 少子化対策として三世代同居・近居への推進は。

**A** 国ではシニア世代の協力を得て、社会全体の教育力の向上と地域活性化を図る方針である。本市でも対応可能なものは検討していきたい。

請願陳情審査報告書

平成26年第5回串間市議会(12月定例会)

種別番号	受理年月日	件名	請願陳情者の住所氏名	審査結果
請願第5号	平成26年6月2日	国民健康保険税の引き下げを求める請願書	串間市大字西方13938 新日本婦人の会串間支部 野辺 まり子 外826名	不採択
請願第7号	平成26年11月20日	「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定見直しについて意見書を求める請願書	宮崎市郡司分5227-34 藤原 宏志 外5名	不採択
陳情第11号	平成26年11月18日	旧都井岬観光ホテルの早急な買取りと観光振興について	串間市大字西方5657 串間商工会議所会頭 矢野 貞次 外5名	採 択
陳情第12号	平成26年11月27日	国民健康保険税の引き下げを求める陳情書	串間市大字西方13938 新日本婦人の会串間支部 野辺 まり子 外225名	採 択



請願は市議会議員の紹介が必要です。議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。議会の最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。陳情は市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

農業

農林水産業の現況とブランド化への取り組み



たけだ しゅういち 議員 武田 秀一

**Q** 当市における農林水産業の現況とブランド化への取り組みについて。

**A** (一) 耕畜連携とかんしよ土づくり対策は  
(二) 和牛改良生産と肥育牛導入対策及び第11回全国和牛能力共進会について  
(三) 酪農政策と後継者育成について  
(四) 公共施設への地元スギ材利用について  
(五) 水産業における養殖事業の展開

**Q** 観光行政と近畿大学のエコツーリズムの商品化への取り組みについて。

**A** 本年4月に串間エコツーリズム推進協議会を設立、各関係機関と連携し観光振興に務めます。

**Q** 職員の資質向上策及び人材育成とコンプライアンスの取り組みは。日頃から危機管理意識を持つこと、またPDCAサイクルの徹底に務めます。

**Q** 福島高等学校の存続への地域連携は。

**A** 中高貫教育を推進し、地域及び県教育委員会と連携していく。

**Q** 医療事故調査支援センター設置及び高額医療申請について。

**A** この制度の施行は平成27年10月1日となっています。今後も引き続き事故の防止に努めます。

**Q** 福祉高齢者及び低所得者の支援策及び取り組みについて。

**A** 大東地区忠霊塔交差点での信号機設置について及び大東駅・小山間の赤色灯点滅設置は、関係機関に要望してまいります。

## 議員提出議案

### 議員提出議案第24号

議案第86号平成26年度串間

市一般会計補正予算(第7号)

に対する付帯決議

提出者 串間市議会議員  
門田 国光

賛成者 串間市議会議員  
井手 明人

中村 利春

武田 浩一

「議案第86号平成26年度串間市一般会計補正予算(第7号)に対する付帯決議に対する、提案理由」

今補正予算として旧吉松家住宅周辺整備事業関連予算が提出されている、第7款土木費 第5項都市計画費 第1目都市計画総務費中、第13節委託料で旧吉松家住宅周辺整備事業の測量設計委託料1090万8千円を減額し、第17節公有財産購入費で土地購入費1042万8千円及び第22節補償補填及び賠償金で補償金として48万円を組み換え補正している。

本事業の測量設計委託料については、9月議会において、1500万円を追加補正したばかりであり、計画に一貫性がないと言わざるを得ない。

旧吉松家住宅周辺(仲町通り等)活性化実施計画では、「住む人と訪れる人がふれあうにぎわいとうるおいのあるまち」(大正ロマンと鉄道を活かしたまちづくり)と

称して、旧吉松家住宅を中心とした周辺整備計画があります。

これは、「くしままちづくり協議会」を中心に地元のまちづくりの機運が高まったもので、大変喜ばしい事であります。しかしながら、当局のこれまでの説明や一般質問での議論を踏まえ、本計画の実効性、「道の駅」構想との整合性等を含め、検討すべき課題も明らかになった。

したがって、当局にあつては、都市計画総務費の土地購入費等の節の組み替えの執行については、これらの課題を再検討し、住民からの理解が得られるまでの間、執行を留保するよう、強く決議するものである。

### 議員提出議案第25号

「山村振興法」の延長及び地域林業・地域振興の確立に向けた施策の拡充を求める意見書

提出者 串間市議会議員

瀬尾 俊郎

### 「提出先」

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣

山村における経済力と住民の福祉の向上を図り、併せて地域格差の是正と国民経済の発展に寄与することを目的として、昭和40年に「山村振興法」が制定され、これまでに国の政策支援が行われてきた。

いま、地方創生が叫ばれているが、地方創生は山村地域の活性化なしには達成することが困難である。

しかし、「山村振興法」が平成27年3月末で期限を迎えることから、国においては、山村地域の現状及びその果たす役割を踏まえ、法の期限を延長することを、強く要望する。

## 反対討論

### 25年度決算認定に関する反対討論

自治体の仕事は「住民の福祉の増進を図ること」です。

**一般会計** 4億4881万円の黒字。串間温泉や文化会館の選定では、公正・公平でないと市民の批判が起きました。串間温泉は3437万円の赤字。指定管理者返上の申し出がされています。都井岬ビジターセンターや旧吉松家も大幅な赤字です。一方、固定資産税は高い超過税率。ゴミ袋手数料は千数百万円の黒字です。市民の暮らしは深刻です。税金の使い方を市民の暮らし優先に改めるべきです。

**国保会計** 1億7859万円の赤字、基金残高も1億1378万円。市民アンケートでは8割が引き下げを願っています。

### 2014年12月議会

#### 反対討論

#### 一般会計補正予算

旧吉松家周辺整備計画の複合施設測量設計委託費1042万円を組み換えて土地を先行取得するものです。計画は「道の駅」計画と重複することから「見直す」と言ってきました。市民アンケート「計画に期待しない人」が72%。土地購入は中止すべきです。

**国保会計補正予算** 国保連合会が返還した1542万円は全額国保世帯に返還すべきです。

**国保審議会の定数削減条例** 選出

## 活

## 動



平成26年11月20日  
国際ソロプチミスト串間市支部との意見交換会

## 報

## 告



平成26年11月5日  
産業建設常任委員会による「道の駅むなかた」視察研修

を公募や議員以外に改める等、改善すべきです。

**市木デイサービス** 「赤字」で27年度で1717万円の補助をします。図書館は利用料金をとらない社会教育の拠点施設です。どちらも市が運営すべきです。

### 陳情・請願

市民アンケートでは、「集団的自衛権行使容認の閣議決定」に賛成

16%、反対50%。「集団的自衛権の閣議決定」撤回が市民の願いです。意見書を採択すべきです。

「高くて払えない国保税を引き下げてほしい」市民8割の声です。請願・陳情書は採択すべきです。

「旧都井岬ホテル買収」アンケートでも賛成17%、反対31%、再検討18%と意見が分かれています。見直しが必要です。

平成26年12月 第5回串間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

	議決結果	木代誠一郎	川崎千穂	武田秀一	今江猛	武田浩一	実藤賢次	英聡子	井手明人	中村利春	山口直嗣	岩下幸良	門田国光	武田政英	児玉征威	瀬尾俊郎	田上俊光
議案第88号平成26年度串間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第89号平成26年度串間市民病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第90号平成26年度串間市簡易水道特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第91号平成26年度串間市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第92号平成26年度串間市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第93号平成26年度串間市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第94号平成26年度串間市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第95号平成26年度串間市介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
議案第96号串間市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第97号串間市選挙公報に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第98号串間市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第99号串間市指定介護予防支援費等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第100号串間市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第101号公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第102号公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第103号公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第104号公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第105号公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第106号工事請負変更契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第107号固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第108号固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第109号平成26年度串間市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議員提出議案第24号議案第86号平成26年度串間市一般会計補正予算(第7号)に対する付帯決議案の提出について	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-
議員提出議案第25号「山村振興法」の延長及び地域林業・地域振興の確立に向けた施策の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第5号国民健康保険税の引き下げを求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-
請願第7号「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定見直しについて意見書を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-
陳情第11号旧都井岬観光ホテルの早急な買取りと観光振興について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
陳情第12号国民健康保険税の引き下げを求める陳情書	採択	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-

○賛成 ×反対 -欠席等 -採決なし ※議長(田上俊光)は採決に加わらないので「-」で表示

	議決結果	木代誠一郎	川崎千穂	武田秀一	今江猛	武田浩一	実藤賢次	英聡子	井手明人	中村利春	山口直嗣	岩下幸良	門田国光	武田政英	児玉征威	瀬尾俊郎	田上俊光
認定第1号平成25年度串間市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第2号平成25年度串間市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第3号平成25年度串間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第4号平成25年度串間市民病院事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第5号平成25年度串間市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第6号平成25年度串間市水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第7号平成25年度串間市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第8号平成25年度串間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第9号平成25年度串間市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第10号平成25年度串間市物品特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第11号平成25年度串間市介護保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第12号平成25年度串間市介護保険特別会計(サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第13号平成25年度串間市市木診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第8号和解及び損害賠償の額の決定についての専決報告について	終了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第9号和解及び損害賠償の額の決定についての専決報告について	終了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第73号平成26年度串間市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第74号平成26年度串間市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第75号平成26年度串間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第76号平成26年度串間市民病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第77号平成26年度串間市簡易水道特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第78号平成26年度串間市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第79号平成26年度串間市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第80号平成26年度串間市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第81号平成26年度串間市介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第82号平成26年度串間市市木診療所特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第83号串間市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第84号串間市長等の給与に関する条例及び串間市教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第85号串間市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第86号平成26年度串間市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第87号平成26年度串間市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-

## 福島港

串間市中心市街から南西に3kmほどの所にある福島港は古くは今町港とい、曾ては市中央部を貫いて流れる福島川の河口にありました。

明治時代には阪神方面との定期航路もあり、大河ドラマにもなった宮尾登美子の小説「天璋院篤姫」や三島由紀夫の小説「潮騒」にも登場するほどの歴史のある港です。昭和の30年代までは対岸の金谷地区を結ぶ渡し船もあり、漁港としての賑わいも相当なものでした。

現在は大型船舶の利用を可能にするため湾岸の整備や改修が進められ、志布志湾に面した外港部分に移転し、伊勢海老祭りや花火大会、シーパラダイス串間などのイベント会場にもなっています。

福島港のある今町地区はかつて港町として繁栄し、旅館や商店が軒を並べる串間の中心地でもありましたが、今でも鄙びた港町の郷愁を誘うような風情が残されています。

今年7月にオープンした「港の駅いまち」も今町地区の漁協の一角にあります。新鮮な魚介類や海産物が満載です。買い物と併せて今町地区を散策されてはいかがでしょうか。地区内にあるたぐさんの「お地藏さま」も待っていますよ。

なお、串間市議会では特別委員会を中心に福島港利活用のための活動を続けています。



### 議員の寄付行為について

#### 政治家からの寄付禁止

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄付を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄付になるので、注意してください。

#### 禁止されている寄付（例）

- × 病氣見舞い
- × 祭りへの寄付や差入れ
- × 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入れ
- × 結婚祝、香典（政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合がある）
- × 葬式の花輪、供花
- × 落成式、開店祝の花輪
- × 町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差入れ
- × 入学祝、卒業祝
- × お中元、お歳暮

### 議会を見学しよう!

串間市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に市庁舎東側2階の傍聴席受付で住所、氏名等を記入の上お入りください。

### 編集後記

広報委員会  
武田 秀一

議会だよりの発行も7回目となりました。市民一人ひとりと議会・行政の話題提供の手段として大きく役立っていると感じています。市政において各種の課題解決に向け、方向性一つにして日頃より進めていきたいものです。今日地方創生が言われたて久しいですが、全国的に人口減少社会へと突入し、特に地方にあっては一層の厳しさがあります。大都市への一極集中をどうするか为中心的な考えになっているのではないでしょう

か。地方をどのように活性化して人口増を図るのかまったく先行き不透明です。であれば今後、地方、わが串間市はどのように現状を打破すべきかが問題です。市政60周年を迎え、これを出発点として、市民・行政・議会と三者一体となり、子供・孫そして高齢者等、子育ての環境づくり、暮らしの幸せづくり等、今後とも全てにおいて協働のまちづくりを進めてまいりましょう。